

地方公共団体名	北海道富良野市
所属部局 担当者名	市民生活部環境課 担当：主幹 石出訓義
地域の抱える 課題	<p><b>【環境・脱炭素に関する課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年4月に2050年ゼロカーボンシティ実現に向けた「脱炭素ロードマップ」を策定し、以下の3点を課題（障壁）として挙げている。</li> <li>1. 「心理的」な壁⇒「ゼロカーボン」への市民意識の高まりが不足している</li> <li>2. 「環境的」な壁⇒寒冷地であり、面積が広く農村部の点在など条件が厳しい</li> <li>3. 「技術的」な壁⇒再エネ導入が進んでおらず、エネルギー事業を担う市内企業が少ない</li> </ul> <p><b>【同時解決したい地域の課題】</b></p> <p>ゼロカーボンの取り組みにより地域経済の活性化を図る。本市は基幹産業が農業であり、かつ、農業の営みから生まれる景観を主とした観光業が盛んな地域である。</p> <p>デジタル社会が急速に進んでいるが、本市の特長・魅力はこういった「アナログ」の部分であり、今後も維持・発展させていくにはエネルギーの地産地消、それを担う市内企業の確保・育成が必要である。</p>
地域のありたい 未来	ふらのの魅力を支える環境を守り・活かす、環境と経済循環の持続可能なまち

<p>事業の概要</p>	<p>本市は 30 年以上前からごみリサイクルに取り組み、現在、リサイクル率は 90%となっている。この取り組みを維持・発展させること、かつ、再エネ導入の動きを加速化させ、エネルギーの地産地消をめざす。そのため直近においては、以下の 3 つの取り組みを推進する。</p> <p>I. 市民に対し、脱炭素への行動変容を促すための見える化と仕組みづくり</p> <p>II. 住宅への太陽光等、商用ベースとなった技術の導入を加速化させる取り組みの展開</p> <p>III. 市外企業と連携し、エネルギー事業を担う事業体の設立や他産業含めた市内企業の事業拡大</p>
<p>企業に求めたい内容</p>	<p>①市民に行動変容を促す支援ツールの提案</p> <p>②住宅への太陽光導入等について、初期投資を軽減する手法（例：リースや PPA など）の本市での実施</p> <p>③水素の活用に関する知見や実証の実施</p> <p>④林地残材（未利用材）活用の手法や技術導入支援</p> <p>⑤農業分野（特にハウス栽培）での脱炭素技術導入支援</p>